

新潟大学 倫理審査委員会 オプトアウト書式

①研究課題名	聴覚情報処理障害における雑音下語音弁別検査の検討
②対象者及び対象期間、過去の研究課題名と研究責任者	2020 年以降に新潟大学医歯学総合病院で、聴覚情報処理障害（APD）が疑われて雑音下語音弁別検査を行った方
③概要	聴覚情報処理障害（auditory processing disorder: APD）という病気があります。音は聴こえるのですが言葉が聴き取りにくく、特に騒がしいところでの聴き取りが難しいという病気です。 この研究では、当院で APD が疑われて雑音下語音弁別検査を行った患者さんの聴力検査結果をカルテの内容から調べ、APD 以外の難聴の患者さんやきこえに異常を感じていない方の結果を比較し、APD の患者さんが雑音によってどの程度聴き取りが悪化するか研究します。 カルテの情報をういた研究であり、対象の方に新たな負担が生じることはありません。 本研究に参加を希望されない方は、参加を拒否することができます。拒否しても不利益が生じることはありません。
④申請番号	2024-0236
⑤研究の目的・意義	APD は、音は聴こえるのですが言葉が聴き取りにくく、特に騒がしいところでの聴き取りが難しいため、学業や仕事に困難が生じる病気です。通常の聴力検査だけでは診断できず、さらに詳細な聴力検査も診断のための基準値が定まっていません。本研究では、雑音下でのことばの聴き取り検査について、APD の患者さん、他の難聴の患者さん、きこえに支障を感じていない人、それぞれの方に検査を行い、診断のための基準値を調べることを目的とします。
⑥研究期間	倫理審査委員会承認日から 2028 年 3 月 31 日まで
⑦情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）	本研究で得られた情報は、研究以外には使用せず、他の施設へ提供することはありません。
⑧利用または提供する情報の項目	診療記録、検査データ
⑨利用する者の範囲	新潟大学および以下の共同研究機関等で利用いたします。 新潟大学 耳鼻咽喉・頭頸部外科 泉 修司
⑩試料・情報の管理について責任を有する者	新潟大学 耳鼻咽喉・頭頸部外科 泉 修司
⑪お問い合わせ先	本研究に対する同意の拒否や研究に関するご質問等ございましたら下記

	にご連絡をお願いします。 所属：耳鼻咽喉・頭頸部外科 氏名：泉 修司 Tel：025-227-2306 E-mail：izumi@med.niigata-u.ac.jp
--	---